

Kure College		Year	2020		Course Title	English
Course Information						
Course Code	0298			Course Category	General / 選択必修	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	Electrical Engineering and Information Science			Student Grade	5th	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	鈴木佑治『プロジェクト発信型英語 Volume 1』（南雲堂）					
Instructor	Tomimura Noritaka					
Course Objectives						
1. プレゼンテーションのためのリサーチができること 2. リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを作成できること 3. 1, 2を用いて英語プレゼンテーションができること						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	プレゼンテーションのためのリサーチが適切にできる		プレゼンテーションのためのリサーチができる		プレゼンテーションのためのリサーチができない	
評価項目2	リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを適切に作成できる		リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを作成できる		リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを作成できない	
評価項目3	評価項目1, 2の内容を用いて英語プレゼンテーションが適切にできる		評価項目1, 2の内容を用いて英語プレゼンテーションができる		評価項目1, 2の内容を用いて英語プレゼンテーションができない	
Assigned Department Objectives						
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)						
Teaching Method						
Outline	これまでに学習した英語の文法、語彙等をアクティベートするため、英語でプレゼンテーション活動を行う。本授業は就職と進学に関連し、コミュニケーション力を高めることができる。					
Style	演習を基本とする。新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。					
Notice	授業にはテキスト・辞書を必ず持参すること。学生諸君が英語を使う時間が多く取られるので、積極的に取り組み、疑問点は遠慮無く質問するよう期待する。 【カリキュラムの中での位置づけ】 1～4学年の英語関連科目で学んだ内容および技能を基礎に、さらに英語力を伸ばすための科目。 【先行して理解する必要のある科目】 コミュニケーション英語I, II, 英語表現I, II, 英語（4年選択科目） 【同時に学ぶ科目】 なし 【ESDとの関連（教育目標）】 (ESD1) テキストの演習を通して、英語でのコミュニケーション能力を高めることで、他文化の人々と協力して行動するための素養を身につける。 【評価方法と基準】 JABEE合格基準：60%以上 前期期末課題23.3%+後期中間試験23.3%+後期期末試験23.4%+ ポートフォリオ30%=100%(100点) 60%以上を合格とする。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	Unit 1	学生同士がコミュニケーションする雰囲気を作ることができる		
		2nd	Unit 2	英語で自分の好きなことについて話すことができる		
		3rd	Unit 3	リサーチについて理解できる		
		4th	Unit 4	ミニ・プロジェクトの切り口を考えることができる		
		5th	Unit 5	ミニ・プロジェクトの切り口を選んでテーマを決め、リサーチできる		
		6th	Unit 6, 7	ミニ・プロジェクトのリサーチを進め、中間プレゼンテーションのスライドを作ることができる		
		7th	Unit 8	中間ミニ・プレゼンテーションを行うことができる		
		8th	Unit 9	中間ミニ・プレゼンテーションを行うことができる		
	2nd Quarter	9th	Unit 10	割り込みと繰り返しを用いた質疑応答ができる		
		10th	Unit 11	確認と説明を用いた質疑応答ができる		
		11th	Unit 12	期末プレゼンテーションの概要をまとめることができる		
		12th	Unit 13	期末プレゼンテーションの原稿を作ることができる		
		13th	Unit 14	期末プレゼンテーションの原稿を作ることができる		
		14th	Unit 15	期末プレゼンテーションのスライドを作ることができる		
		15th	期末試験			
		16th	試験結果返却・説明			
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	Unit 16	リサーチの構成要素を理解できる		
		2nd	Unit 17	インタビューの原案を作ることができる		

		3rd	Unit 18	インタビューを行い、その結果をまとめて報告できる
		4th	Unit 19	アンケートの原案を作ることができる
		5th	Unit 20	アンケートを行い、その結果をまとめて報告できる
		6th	Unit 21	中間プレゼンテーションの原稿を作ることができる
		7th	Unit 22	中間プレゼンテーションのスライドを作ることができる
		8th	中間試験	
	4th Quarter	9th	試験結果返却・説明	
		10th	Unit 23	パラグラフリーディングの技術を用いて、パラグラフのメインアイデアを取り出すことができる
		11th	Unit 24, 質疑応答の方法	パラグラフリーディングの技術を用いて、パラグラフのメインアイデアを取り出すことができる 質疑応答の基本的な表現を使うことができる
		12th	質疑応答の方法	質疑応答の基本的な表現を使うことができる
		13th	Unit 27	最終プレゼンテーションの原稿とスライドを作ることができる
		14th	Unit 27	最終プレゼンテーションの原稿とスライドを作ることができる
		15th	学年末試験	
		16th	試験結果返却・説明	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	課題（コロナウイルス対応のため前期末試験の代替）	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	47	23	0	0	30	0	100
基礎的能力	47	23	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0